

朝鮮史研究会 第48回大会

日時 2011年10月22日(土)・23日(日) 参加費 学生1000円、一般1500円

会場 立命館大学衣笠キャンパス

(JR京都駅などから市バス「立命館大学前」下車、または「衣笠校前」下車徒歩7分)

【第1日】10月22日(土)13:30～(受付13:00～)

於・創思館カンファレンスルーム

講演

「キトラ・高松塚古墳壁画と東アジア」 東潮氏

「植民地期～解放直後、地域社会リーダーシップの形成

－全南地域を中心に」

朴賛勝氏

総会 (会員のみ) / 懇親会 (別途参加費必要)

【第2日】10月23日(日)9:30～(受付9:00～)

【午前】パネル

9:30～12:00 於・創思館 303、401、402

新出資料「デ・ラランデの京城都市構想図」をめぐって

- ① 創思館 303
- 「倉富勇三郎の略歴と所蔵資料・写真について」 川崎陽氏
 - 「デ・ラランデの京城都市構想」 徐東帝・西垣安比古氏
 - 「京城都市構想図における景福宮配置プラン」 宮崎涼子氏
- 全体責任・司会：水野直樹氏

- ② 創思館 401
- 解放後・在日済州島出身者の生活史
- 「生活史から見る在日済州島出身者の移動経路」 伊地知紀子氏
 - 「在日済州島出身者の口述史と4・3事件」 高村竜平氏
 - 「在日済州島出身者と学校教育」 鄭雅英氏
- コーディネーター：藤永壯氏

- ③ 創思館 402
- 帝国日本の「学知」と植民地朝鮮
- －朝鮮総督府の植民地朝鮮研究を中心に
- 「赤松智城と朝鮮の宗教」 金泰勲氏
 - 「朝鮮総督府のキリスト教検閲をめぐって」 裴貴得氏
 - 「末松保和の朝鮮史研究について」 沈熙燦氏
 - 「朝鮮総督府の通訳官たち」 許智香氏
- 全体責任・司会：桂島宣弘氏

【午後】全体会

13:00～17:30 於・創思館カンファレンスルーム

大会テーマ

朝鮮現代史と在日朝鮮人

報告

- 「戦後占領期日朝間における人流と国境管理」 マシュー・オーガスティン氏
- 「朝鮮現代史と山口県」 鄭祐宗氏
- 「政治的民族運動としての帰国運動」 李泳采氏
- 「解放後在日朝鮮人運動抑圧の性格分析」 鄭祐宗氏
- 「在日朝鮮人帰国運動の展開過程を中心に」 李泳采氏

総合討論



各パネル、大会テーマおよび各報告の趣旨文をホームページに掲載しています

朝鮮史研究会

<http://www.soc.nii.ac.jp/chosenshi/>

(関東部会) 〒186-8601 東京都国立市中2-1
一橋大学大学院社会学研究科 糟谷憲一研究室気付

(関西部会) 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学人文科学研究所 水野直樹研究室気付